

フォルダの所有権（アクセス権）を取得する方法 （セコムの専用ツールの問題）

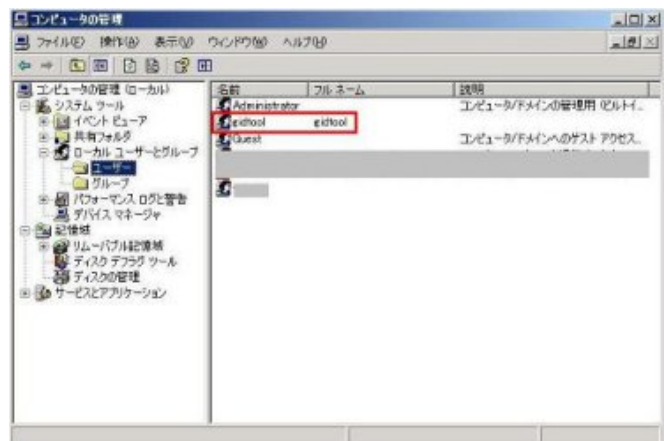
セコムの専用ツールをインストールすると、通常ではありえない「管理者権限のある Windows のログイン ID（ユーザー アカウント）」が、密かに作成される。

インターネットに接続された、他人のパソコンに、予め承諾を得ることも無く、密かに、何らかの意図を持って、「管理者権限のある Windows のログイン ID」を作成し、ファイルを精査し、アクセス権を制限したファイルやフォルダを追加し、設定を変更する行為は、刑法第 168 条の 2 に違反する疑いがあり、個人情報保護の観点からも、見過ごすことのできない重大な問題である

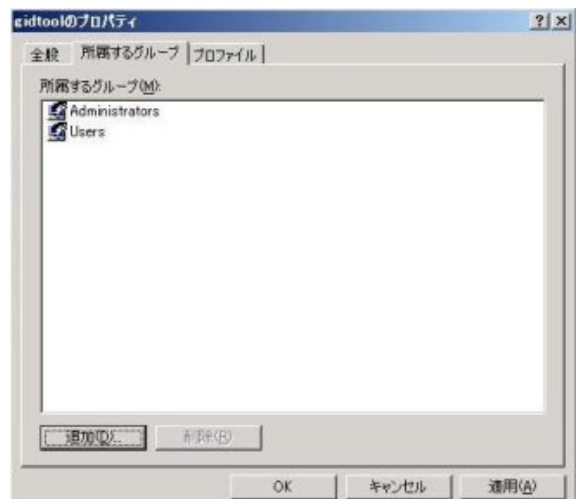
セコムの専用ツールをインストールした後、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「ユーザーアカウント」で、右の画面を表示して、セコムのユーザー アカウント「gidtool」が表示されない場合であっても、セコムの専用ツールをインストールした全てのパソコンに、ユーザー アカウント「gidtool」が作成されているので、その確認方法を紹介し、併せて、セコムがアクセス権を制限したフォルダへのアクセス方法も紹介する。



「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」で、次の画面を表示して、「ローカル ユーザーとグループ」→「ユーザー」と展開すると、次の画面が表示され、右側に登録されているユーザー名「gidtool」が表示される。



右側に表示された「gidtool」を選択して、右クリックして、プロパティを選択すると次の画面が表示され、セコムトラストシステムズ株式会社が、密かに、作成したアカウント「gidtool」は、「Administrators」と同じグループ（管理者権限があるアカウント）であることが確認できる。

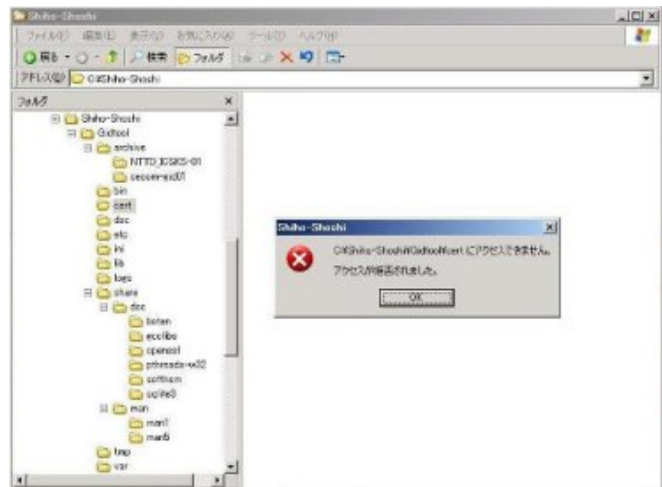


パソコンの所有者本人であっても、一定の権限を持つユーザーとして識別されなければ、利用できるシステムの機能が制限される。例えば、システムの構成を変更したりするには、管理者権限を持ったユーザーとして認証されなければならない（管理者として認証されなければ、これらの操作は行えない）。

セコムトラストシステムズ株式会社が、管理者権限のあるアカウントで作成したフォルダは次の場所にある。

「マイ コンピュータ」→「Cドライブ」を選択して右クリック、「エクスプローラ」をクリックして、「Shiho-Shoshi」フォルダを展開すると上の画面が表示される。

表示されたフォルダ「Gidtool」の中の「cert」フォルダを展開しようとする、「アクセスが拒否されました。」と表示され、展開することができない。



これは、セコムトラストシステムズ株式会社が、密かに作成したアカウント「Gidtool」によって作成されたフォルダで、パソコンの所有者本人でも展開することができないように設定されているためである。

このアクセスを制限されたフォルダを展開するには、フォルダの所有権（アクセス権）を取得する必要があるので、その方法を説明する。

Windows XP で、フォルダの所有権（アクセス権）を取得する方法

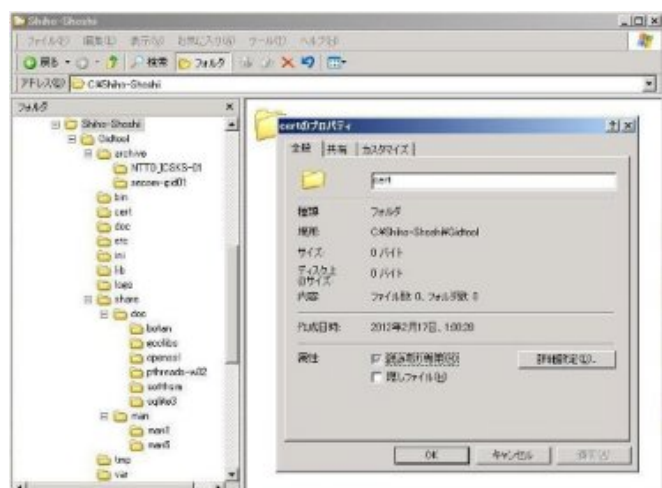
<http://support.microsoft.com/kb/308421/ja>

保護されたフォルダにアクセスするには、そのフォルダの所有権が必要です。他のユーザーのアクセス許可が制限されており、自分がコンピュータの管理者である場合、フォルダにアクセスするには、所有権を取得します。

フォルダ「cert」のプロパティを表示しても「セキュリティ」タブが表示されない場合

Windows XP Home Edition の場合は、セーフモードで起動する

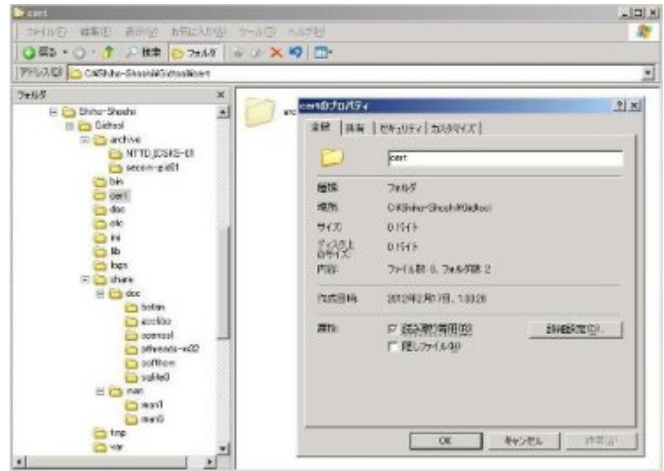
Windows XP Professional で、セキュリティタブが無い場合は、フォルダオプションで、「簡易ファイルの共有を使用する（推奨）」項目をオフにする



フォルダ「cert」のプロパティで「セキュリティ」タブを選択

フォルダの所有権を取得するには、次の手順を実行します。

1. 所有権を取得するフォルダを右クリックし、
[1. プロパティ] をクリックします。
 2. [セキュリティ] タブをクリックし、セキュリティ警告のメッセージが表示された場合は [OK] をクリックします。
 3. [詳細設定] をクリックし、[所有者] タブをクリックします。
 4. [名前] ボックスの一覧で、[]、[Administrator]（管理者としてログオンしている場合）、または [Administrators] グループをクリックします。フォルダ内のファイルやフォルダの所有権を取得するには [サブコンテナとオブジェクトの所有者を置き換える] チェック ボックスをオンにします。
 5. [OK] をクリックし、次のメッセージが表示されたら [はい] をクリックします。
ディレクトリ の内容を読み取るのに必要なアクセス許可がありません。
ディレクトリのアクセス許可を変更して、フル コントロールで利用できるようにしますか？
[はい] をクリックすると、すべてのアクセス許可が変更されます。
- 注： は、所有権を取得するフォルダの名前です。
6. [OK] をクリックします。対象フォルダとそのフォルダに含まれるファイルやフォルダに対し、アクセス許可とセキュリティ設定を適用し直します。



【申請ツールを使用せずに電子署名する方法】

電子証明書をダウンロードして、パソコンに取り込むと、「cert」フォルダに保存されるので、先に紹介した方法で、「cert」フォルダの所有権（アクセス権）を取得すると、フォルダを展開して電子証明書に直接アクセスし、セコムの専用ツールを利用せずに、電子署名することが可能になる。（申請用総合ソフトを直接起動して、電子署名することも可能になる。）